政権交代で社会を変えよう

政権交代、一気にやらなくちゃ

『週刊金曜日』志位委員長がズバリ

日本共産党の志位和夫委員長が大きく表紙を飾る『週刊金曜日』最新号（19日発売）は、志位氏の単独インタビューを6ページにわたり掲載しています。政権交代について「次の選挙で、一気に行くのか」と問われ、「一気に行く。一気にやらなくちゃ。今度の選挙で『政権交代を実現する』と言い切らないと野党の責任は果たせない」と語りました。

志位氏はインタビューでコロナ対策や核兵器禁止条約への対応など内政・外交での菅政権の問題点、8カ月以内に行われる総選挙に向けた野党連合政権の展望について縦横に展開しています。

志位氏は、安倍晋三、菅義偉両政権のコロナ失政の「背景には何がある」と問われ、政府がPCR検査を増やすことを怠ってきたことと国民に自粛を求めながら十分な補償をしてこなかったことをあげ、「科学を無視する姿勢。それと国民に自己責任を押し付ける。この致命的な二つの弱点が一貫している」と強調。「その根底に何がある」と問われ、「自己責任」の押し付けは「新自由主義」の特徴だと指摘。医療費削減、保健所減らし、雇用の質の劣化などの政策を続けてきた矛盾がコロナ禍のもとで噴出していると述べ「その延長上でのコロナ対応になっている」と批判しました。

志位和夫委員長のインタビューを掲載した『週刊金曜日』2月19日号

核禁条約参加「一番の近道」

志位氏は、1月22日に発効した核兵器禁止条約に「核抑止力の正当性を損なう」として加盟に背を向ける政府の姿勢について、核抑止は「いざという時には核兵器を使い、広島、長崎のような非人道的惨禍を繰り返すことをためらわない」という立場だと指摘。「被爆国の政府がそういう立場を取るというのは、根本的政治的堕落です」と批判しました。志位氏は「野党間では核兵器禁止条約への立場がほぼ一致していますから、政権交代が（参加への）一番の近道だ」と主張しました。

8カ月以内に行われる総選挙について、野党共闘で政権交代を実現し新しい政権をつくるために「最大限の力を注ぎます」と決意を述べました。

「政権協力」で状況は変わる

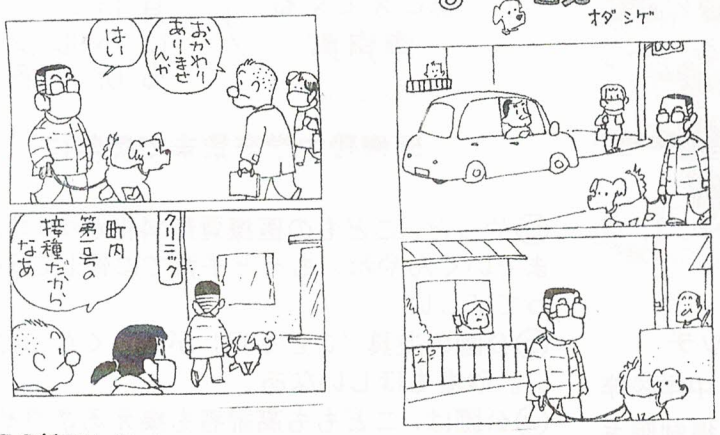
世論調査で野党の支持率が上がっていないことについて、「『自己責任の押し付け』ではなく福祉と暮らしを良くする政治の責任を果たす」という方向での共通政策を確認し、新しい政権で協力する。これが出せれば状況は変わる」と主張しました。

志位氏は政権合意をつくるため、1年半にわたりいろいろな話し合いをやってきたと説明。政権交代での連携の合意はできているが、「『新しい政権で共産党と協力する』という『政権協力』については合意に至っていない。その合意ができるかどうかが、とっても大切です」と述べました。

政権協議が「今後、どのあたりが山場になるのか」と問われた志位氏は「もうそろそろ山場です」と指摘。「（『政権協力』の）合意に至った場合は選挙協力の度合いも違ってくるでしょう」と述べ、「『政権協力』ということは、簡単に言えば『枝野代表を総理大臣にする』という話です。それに協力していこうということなのです」と語りました。

ふれだいこ

思いやり予算
私たちへかと思った
——生活困窮者
和泉・喫茶老夢



この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。他の新聞にはないスクープ満載です是非ご購読ください。

もっと日本共産党

社会主義・共産主義社会のイメージは？

自由・民主主義・個性を豊かに

Q もう少し社会主義・共産主義社会のイメージをつかみたいのですが？

A 日本共産党は将来、国民多数の合意のもと、個々の資本家が持っている工場や機械などの生産手段を働く人たちの手に移すこと（生産手段の社会化）で、労働時間の抜本的短縮を可能にし、誰もが自分の持っている力を自由に全面的に発展させることができる社会主義・共産主義社会へと進むという未来社会への展望をもっています。

そして日本共産党は綱領で、社会主義的変革について「生産手段の社会化を土台に、資本主義のもとでつくりだされた高度な生産力（①）、経済を社会的に規制・管理するしくみ（②）、国民の生活と権利を守るルール（③）、自由と民主主義の諸制度と国民のたたかいの歴史的経験（④）、人間の豊かな個性（⑤）などの成果を、継承し発展させることによって、実現される。発達した資本主義国での社会変革は、社会主義・共産主義への大道である」と述べています。

つまり日本共産党は、資本主義社会で発展した①～⑤が社会主義・共産主義をつくるために必要なものと考えており、社会主義・共産主義社会ではそれらを引き継ぎ、さらに豊かにすることを明確にしているのです。

労働時間短縮などの「国民の生活と権利を守るルール」や基本的人権や議会制民主主義などの「自由と民主主義の諸制度」、「人間の豊かな個性」は世界や日本の人々のたたかいによってつくられたり、つくられつつあるものです。日本共産党がめざす社会とは、こうした資本主義のもとで人々のたたかいによって勝ち取った自由と民主主義をすべて引き継ぎ、豊かに花開かせる社会であり、すべての人が自分の持つ力をいきいきと花開かせることができる社会です。

旧ソ連や中国をイメージして社会主義・共産主義社会では「独裁になる」とか「自由がない」と考える人もいるかもしれませんが、私たちのめざす社会とはまったく無縁です。

検査数「159位」の衝撃

人口比 日本、アフリカ諸国より低く

教科書に書いてあることなぜしないのか

「現在の最大の問題は無症候感染者だ」

（日本の検査数が国際的に）「いまだに少ない。感染者の早期発見と隔離は医学の公衆衛生の教科書に書いてある。なぜ厚労省が医学の教科書に書いてあることをしないのか理解に苦しむ」

ノーベル医学生理学賞受賞者・本庶佑氏の発言（14日、テレビ朝日「羽鳥慎一のモーニングショー」）

未来ひらく「赤旗」
日刊 月3497円
日曜版 月 930円
お申し込みは最寄りで
（090-9987-7909）